

# ラップブロック工法(擁壁用)

ラップブロック工法《擁壁用》とは、鉄筋で連結した5個の擬似自然石(1セット)にパネル付アンカー部材を控え材として一体化し、裏込材を充填しながら積上げるアンカー式擁壁工法です。

## ●特長

### 1.経済的

胴込・裏込コンクリートが不要です。  
従来のブロック製品に比べて経済的で、工期も短縮します。

### 2.カーブ施工が容易

5個の擬似自然石は鉄筋で連結されており、R10m程度まで施工可能です。

### 3.高い透水性

製品の透水性が高く、湧水の影響がある場所にも有効です。

### 4.景観性に配慮

ブロック単体が小型のため、圧迫感を与えません。  
深目地の擬石模様となるため、周辺の景観に馴染みます。

### 5.簡単施工

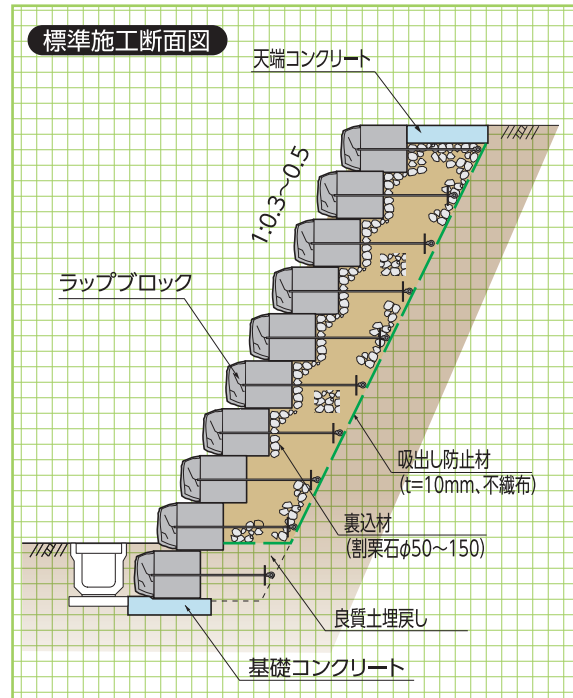
ユニット化(0.5m/セット)されたブロックを据え付けるだけで施工が簡単です。



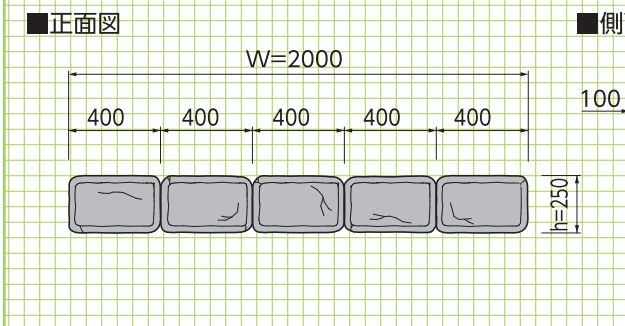
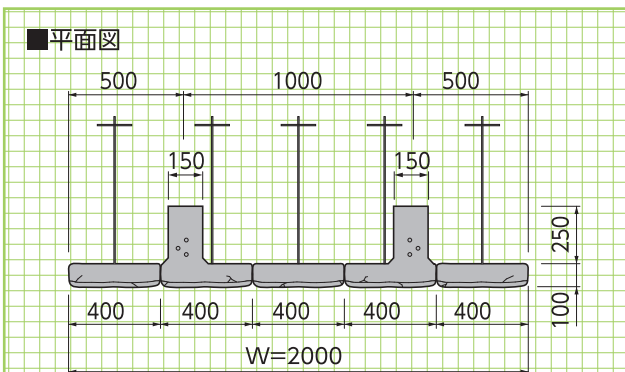
▲名護市

■適用工種 道路・土地造成・施設整備

■適用勾配 1 : 0.3~0.5



標準断面図



基本形状図

形状・寸法